

日々の天気図

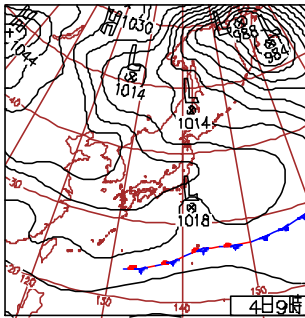
No. 2

2002年3月

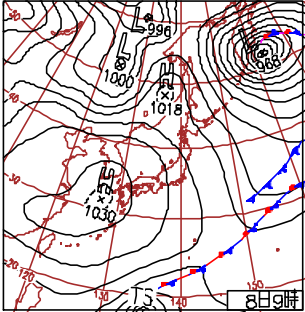
・6日、前線を伴った低気圧が発達しながら本州南岸を東進。室戸岬で最大風速26.9m/sとなった。

・29日、前線を伴った低気圧が発達しながら東シナ海から本州南岸を東進。屋久島で日降水量168.5mmとなった。

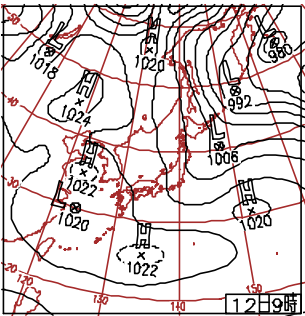
(気象庁予報部予報課)



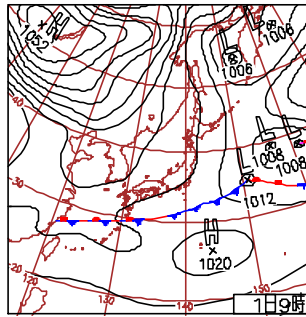
4日(月) 松江でタンポポが開花
北日本を低気圧が通過し雪。その他の地方は高気圧に覆われて晴れたが、午後は西日本から気圧の谷が接近し曇り。松江では平年より2日遅くタンポポが開花。



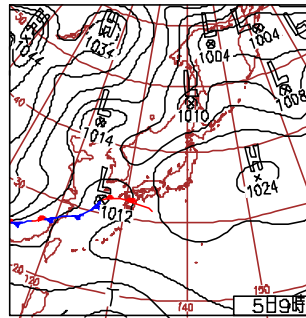
8日(金) 移動性高気圧
北日本は弱い冬型の気圧配置で、昨日に引き続き雪が降っている所もあるが、西から移動性高気圧に覆われて、西日本を中心に晴れ。気温は平年並。



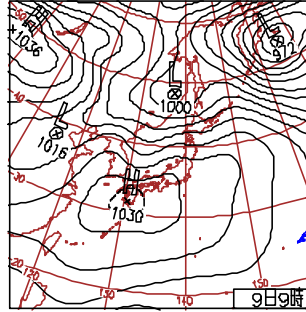
12日(火) 4月上・中旬並の暖かさ
次第に移動性高気圧に覆われてきた。一部の地域を除き晴れた所が多く、日中は4月上・中旬並の暖かさ。沖縄気象台「少雨に関する情報」を発表。一週間程度続く予想。



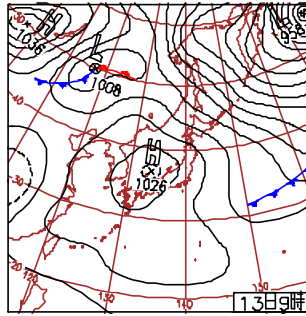
1日(金) 菜種梅雨の走り
日本の南海上に前線停滞。九州・四国の一部で午後には雨。菜種梅雨の走りか。東・北日本は概ね晴れて気温上昇、3月下旬~4月上旬の暖かさ。福島で梅開花。平年より7日早い。



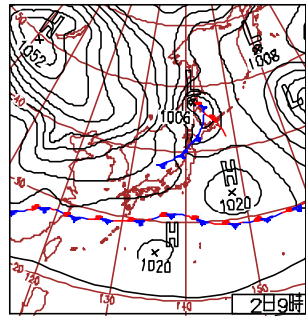
5日(火) 九州南部で「春一番」
低気圧が日本海と本州南岸を進み、西日本は朝から雨。夜には東北まで広がる。九州南部で「春一番」。桜の開花予想発表(西・東日本分)。全般に平年より早い予想。



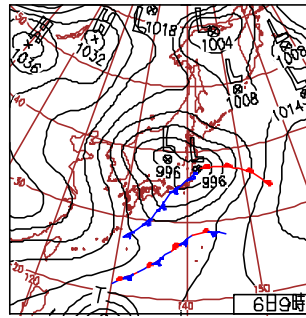
9日(土) 東日本以西は快晴続く
北日本は低気圧の影響で雨の所もある変わりやすい天気。東日本以西は帯状の高気圧に覆われ快晴続く。富山で17.5、福島で15.8、函館10.9など今年最高の暖かさ。



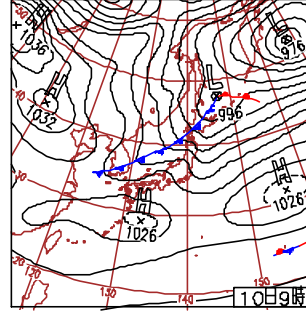
13日(水) 移動性高気圧で晴れ
北日本の一部で曇った所もあったが、他は移動性高気圧に覆われて晴れ。九州北部と沖縄では、今年一番の暖かさとなり、日田で23.6、福岡で21.7、西表島で27.4を観測。



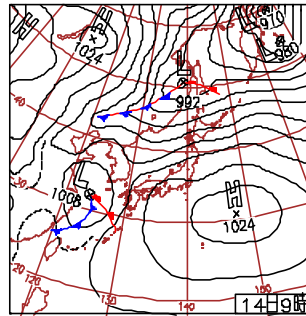
2日(土) 北日本で雪
北日本は寒冷前線が通過し、冬型の気圧配置。北海道・東北北部で雪となるが、降雪量は少なめ。東・西日本では気温上昇し、3月下旬~4月中旬並の暖かさ。



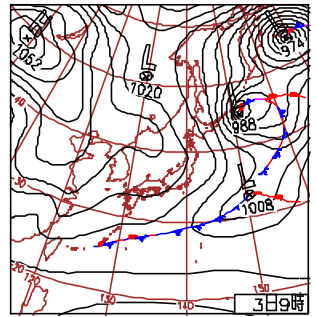
6日(水) 低気圧が発達して北東進
低気圧が本州南岸を通過して発達しながら北東進。北海道では雪。その他の地方では曇りや雨の天気、静岡県では日降水量50mm以上。沖縄、九州の一部で黄砂を観測。



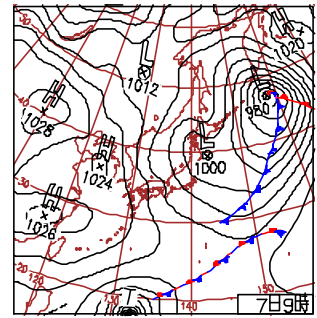
10日(日) 九州北部「春一番」
南高北低の気圧配置、北日本は曇りで雨や雪の所が多く、関東から西は晴れ。関東、東海、九州では4月下旬並みの気温。九州北部で「春一番」吹く。



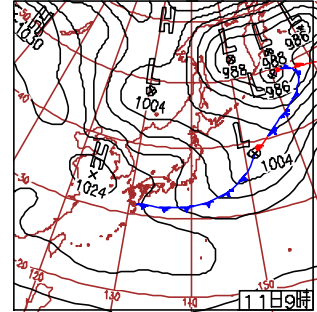
14日(木) 南西諸島で大雨
東シナ海に低気圧が進み、西日本から次第に雨が降り出した。寒冷前線に近い南西諸島では活発な積乱雲が発生し、宮古島では100mmを超える大雨。



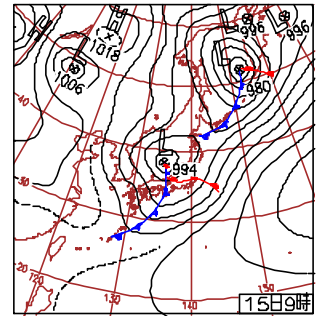
3日(日) 関東南部で真冬並の寒さ
北日本は冬型の気圧配置が続き、日本海側で雪。その他の地方はほぼ晴れて暖かいひな祭りとなったが、関東南部だけは下層雲がとれず、日中でも真冬並の寒さ。



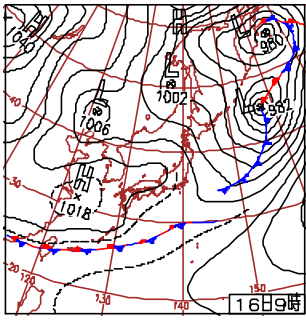
7日(木) 一時的に冬型
日本付近は一時的に冬型。北海道・東北・北陸・山陰で雪や雨。太平洋側は晴れ。気温は関東と東北南部を除き低い所が多い。東京郊外でも黄砂。



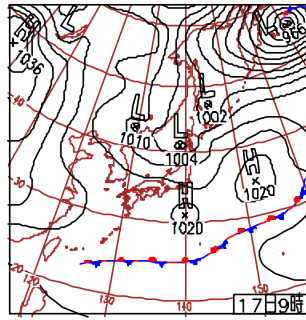
11日(月) 全国的に高気圧
低気圧の影響で北海道で雪、東北以南では高気圧の張り出しの中で晴れの天気。気温は全国的に平年より高い。徳島県で震度3の地震。



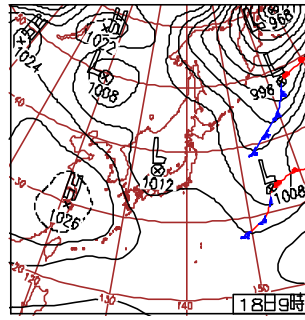
15日(金) 東京5月下旬頃の陽気
日本海に低気圧。全国的に曇りで所々で雨。南風入り、関東と北陸で「春一番」吹く。横浜で平年より13日早くソメイヨシノ開花。気温高く東京では23.9を観測。



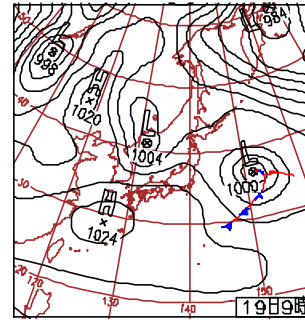
16日(土) 東京で桜の開花
 高気圧に覆われ曇りから次第に晴れの天気、沖縄では前線の影響で雨。東京、熊本、和歌山で桜が開花。東京、和歌山では統計開始以来最早。中国と四国で黄砂観測。



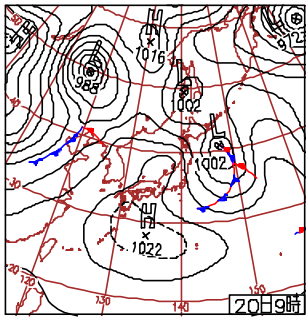
17日(日) 南高北低の気圧配置
 気温上昇、仙台20.5、石巻19.4と5月下旬並の所も。熊谷で平年より14日早く開花するなど桜の便り続々。九州から北海道の広範囲で黄砂観測。



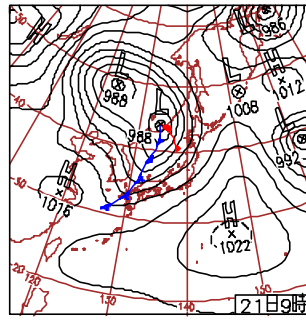
18日(月) 寒気が入る
 上空約5500mに-36程度の寒気が入り、全国的に一時雨や雷雨。銚子と水戸ではひょうを観測。宇都宮では平年より16日早く桜が開花。昨日に引続き、広範囲で黄砂観測。



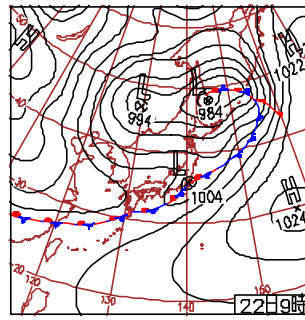
19日(火) 北日本や北陸で時々雨
 寒気を伴った低気圧が発達しながら通過し、北日本から北陸では晴れから時々雨に変わった。一方、東・西日本は高気圧に覆われて一日中ほぼ快晴。



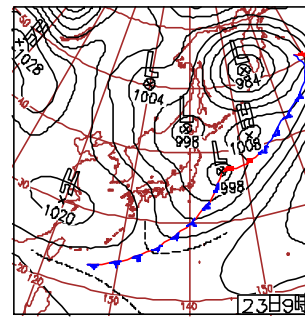
20日(水) 全国的に晴れて暖か
 本州の南海上に中心を持つ移動性高気圧に覆われて全国的に晴れ。気温高く4月中旬～5月中旬の暖かさ。大阪、奈良、広島、水戸などで桜開花。近畿から山陰で黄砂観測。



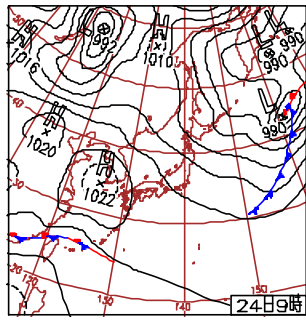
21日(木) 全国的に強風
 沿海州にある低気圧に吹き込む南風で全国的に強風、金沢で最大瞬間風速35.0m/s。各地で山火事が発生。四国で春一番。東京では統計開始以来最も早い桜の満開。



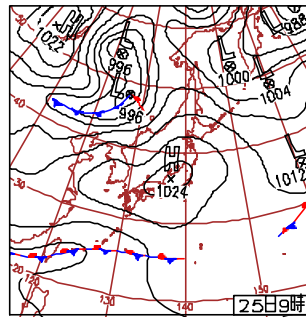
22日(金) 東・西日本で雨
 日本の南が前線帯となっており、東・西日本で雨。神戸・松江・鳥取で桜開花。熊谷・甲府・静岡で満開。九州～北海道の広い範囲で黄砂観測。



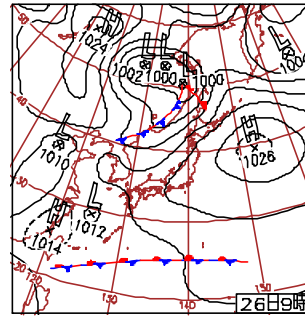
23日(土) ひょうやあられ
 久しぶりに寒気が南下し、日本海側では雨や雪。太平洋側でも上空の寒気の影響で一時雨。ひょうやあられが降った所も。気温は、全国的に下がり平年並。



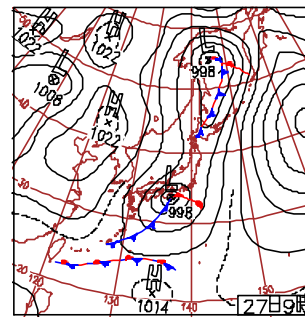
24日(日) 太平洋側でわか雨
 日本海側では初め弱い冬型により所々で雨や雪が降った。また、太平洋側では上空の寒気の影響で午後を中心にわか雨が降ったが、昨日より影響は少ない。



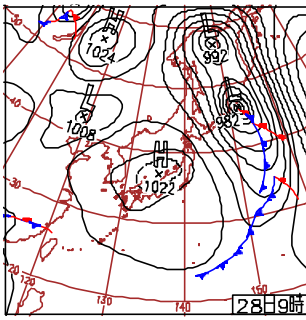
25日(月) 桜前線東北地方に
 移動性高気圧に覆われるが勢力弱く、東北から北で晴れの他は曇り、九州南部から南西諸島は雨。小名浜で平年に比べ14日早くソメイヨシノ開花。桜前線は東北地方に到達。



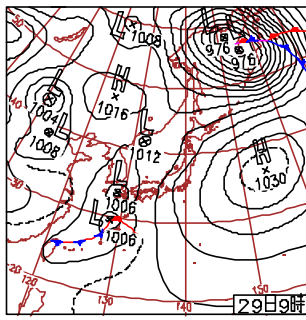
26日(火) 全国的に曇りや雨
 移動性高気圧の後面に当たり全国的に曇りや雨。金沢、富山、福井、豊岡、彦根で桜の開花。石垣島南方沖でマグニチュード6.9の地震。宮古島・八重山地方に津波警報を発表。



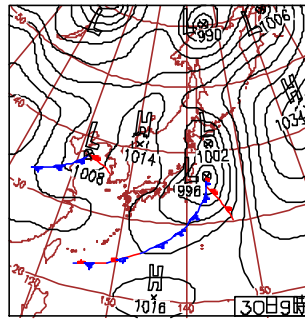
27日(水) ほぼ全国的に雨
 低気圧が発達しながら南岸を東進、ほぼ全国的に雨。後免(高知県)、日和佐(徳島県)で1時間雨量40mmを超える激しい雨。米子・境で黄砂観測。



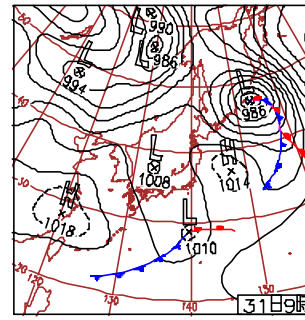
28日(木) 全国的に晴れ
 移動性高気圧に覆われて全国的に晴れ。朝は放射冷却で内陸の気温下がり、日光では-5.2。日中は4月上旬の暖かさ。桜の開花予想第3回(東北)の発表。



29日(金) 南岸低気圧で大雨
 東シナ海から低気圧が発達しながら東進し本州南岸を進んだ。屋久島では11時に60.0mm、日降水量は168.5mmを観測。前線の近くでは、風も強く沖縄便では乱気流。



30日(土) 多摩南部など大雨警報
 関東の東海上を低気圧が発達しながら北東に進む。関東から西は晴れ、北陸から北は曇りで北海道は雨。所々で大雨警報が出され、多摩南部でも一時強い雨が降り今年初の大雨警報。



31日(日) 関東で落雷や降ひょう
 上空に寒気を伴った低気圧の通過で不安定、夜、関東地方を中心に雷雨、所によって落雷や降ひょう。台湾付近でマグニチュード7.3の地震、宮古島・八重山地方に津波警報を発表。